

カナイグループの SDGs の取り組み



エコキャップ運動

株式会社カナイは、カナイグループを通して2019年から環境活動の一環としてエコキャップ運動を行っています。エコキャップ運動に参加し、ペットボトルのキャップを回収することで、地球温暖化を抑制するとともに、世界中の子供たちのワクチン接種に寄与しています。

3

すべての人に健康と福祉を

3.3
2030年までに、エイズ、結核、マラリアや、これまで見放されてきた熱帯病などの伝染病をなくす。また、肺炎や、汚れた水が原因で起こる病気などへの対策をすすめる。

左: キャップ回収ボックス ▶
右: 足立区からのお礼状



エコキャップ回収実績

年度	回収量	回収個数	ポリオワクチン数	CO2の削減効果
2019年	24.0 kg	10,320 個	17.9 人分	81 kg-CO2
2020年	65.5 kg	32,750 個	48.9 人分	258 kg-CO2

水質改善に向けた取り組み

カナイグループでは、環境に配慮したノンクロム防錆処理であるデュラルコートを多くの金物に使用しています。防錆処理のクロメート処理は主材料とされている六価クロムが、極めて強い毒性や発ガン性をもつ物質です。廃棄する際に適切な処理がされていないと土壌汚染や水質汚染の原因になります。また、RoHS指令やELV指令といった欧州規制では環境負荷物質に指定されています。カナイグループでは六価クロムの使用量を削減することで汚水の排出を減らし、水質の向上に努めています。

デュラルコート®

ノンクロム

長寿命

耐アルカリ性

耐酸性

耐電食性

耐防食防錆処理木材

自由なカラーリング

6

安全な水とトイレを世界中に

6.3
2030年までに、汚水を減らす、ゴミが捨てられないようにする、有害な化学物質が流れ込むことを最低限にする、処理しないまま流す排出を半分に減らす、世界中で水の安全な再利用を大きく増やすなどの取り組みによって、水質を改善する。

福祉施設との業務提携

カナイグループは、「座金」をはじめとするオリジナル金物製造拠点の1つに社会福祉法人「埼玉のぞみの園」があります。25年前に同法人「春日園」へ座金のカシメ作業の依頼から始まった業務提携は、今では「第2春日園」、「深谷たんぼぼ」、「妻沼つくし」そして「春陽の里」へと広がっています。これからも社会的自立を目指す障害がある方たちの就労支援に貢献できるよう、努めていきます。



座金製造風景



パレット作成風景

8

働きがいも経済成長も

8.5
2030年までに、若い人たちが障害がある人たち、男性も女性も、働きがいのある人間らしい仕事をできるようにする。そして、同じ仕事に対しては、同じだけの給料が支払われるようにする。